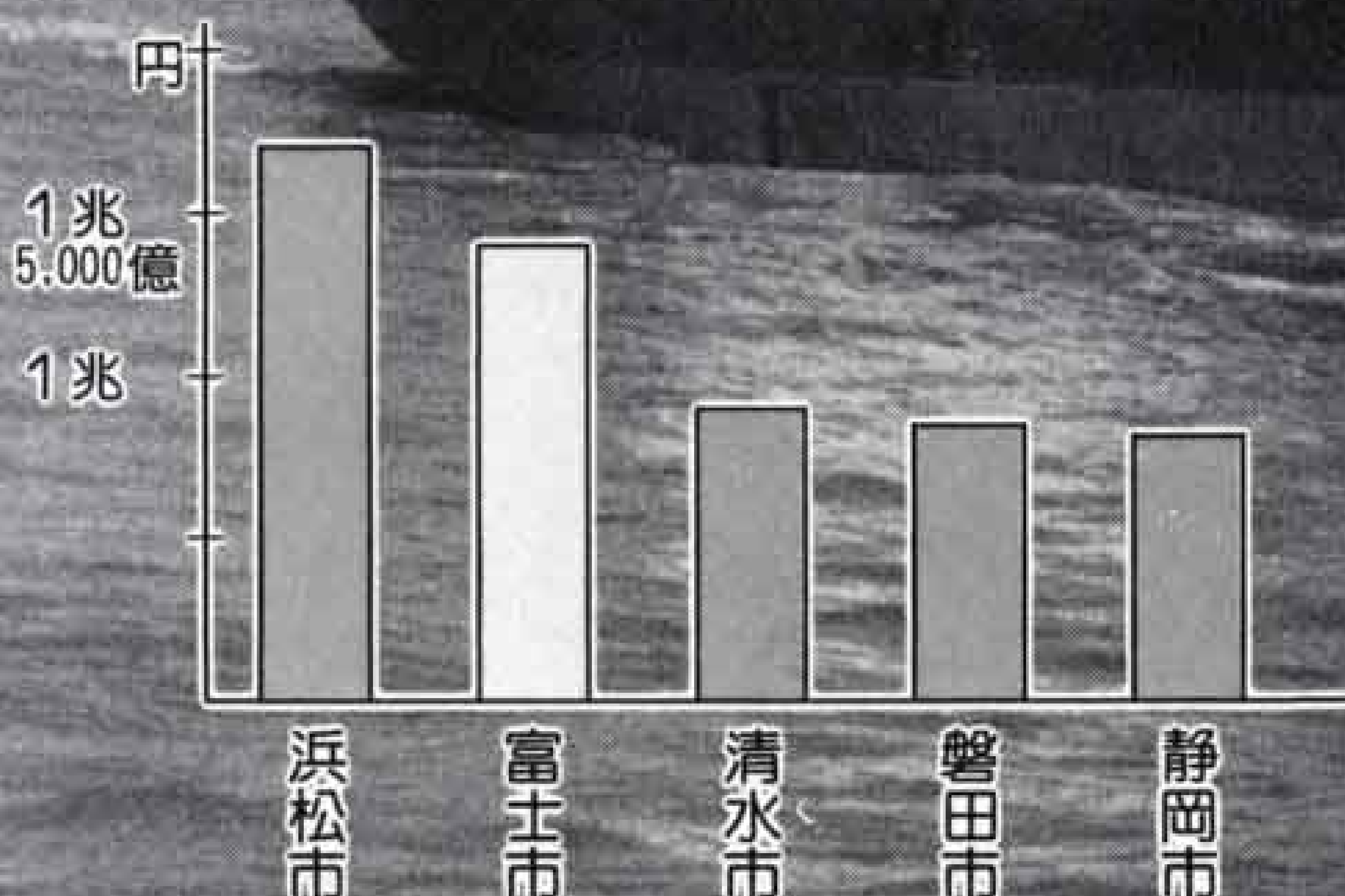
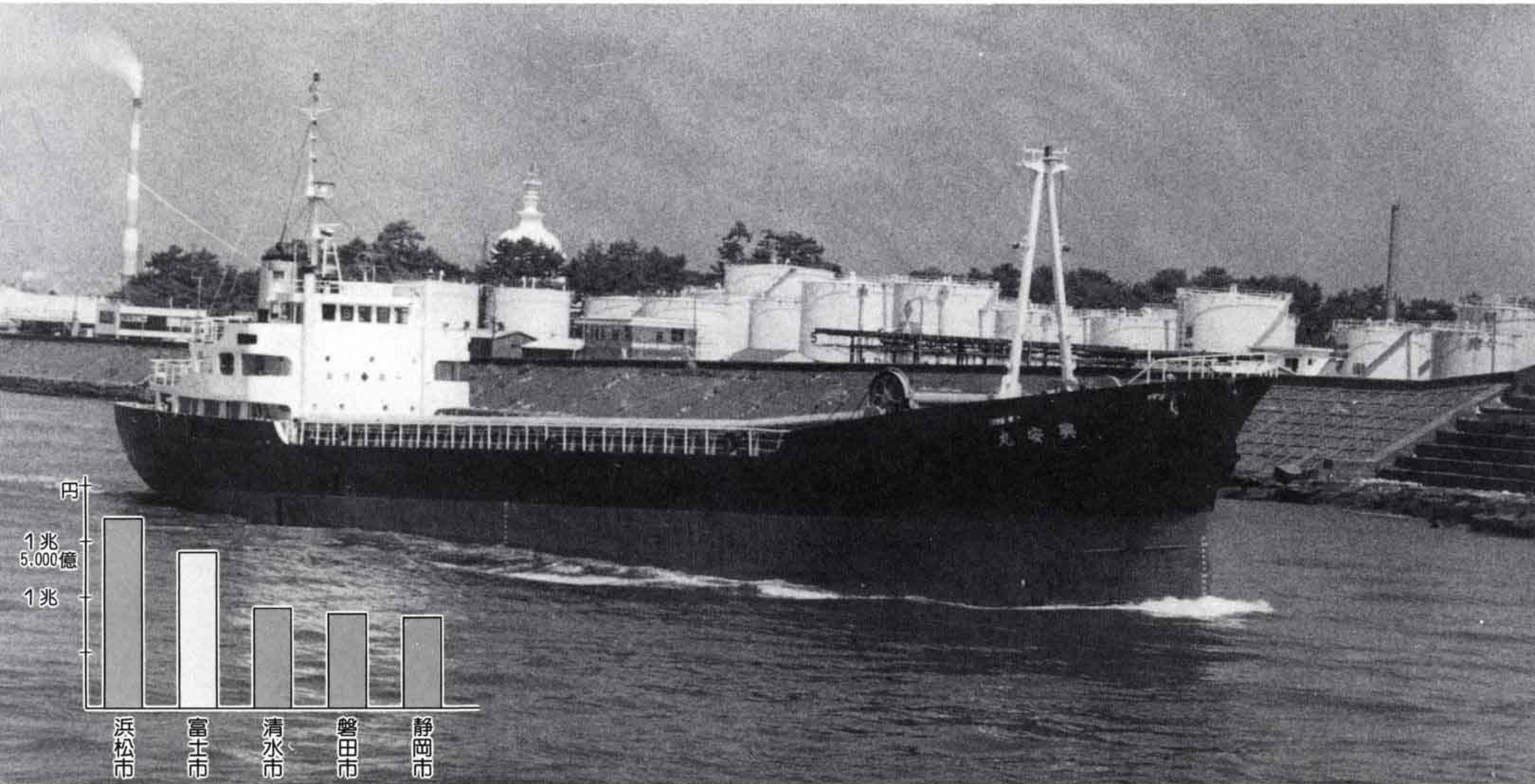


た産業のまち **富 士 市**

結果

工業製造品出荷額等は1兆4,268億円



出荷額は県下二位

昭和六十一年十二月三十一日現在（四人以上の事業所）の本市の製造事業所数は、千二百五十四事業所、従業者数は、四万六千八百八十三人、製造品出荷額等は、一兆四千二百六十八億三千五百十万円でした。

これを前年と比較すると、事業所数で五十事業所（四・二％）の増加、従業者数は、五百九十五人（一・三％）の増でした。また、製造品出荷額等は、七十三億五千八百五十六万円（〇・五％）の微

増でした。

このうち、重化学工業の製造業に占める割合は、事業所数四五・七％、従業者数五四・六％、製造品出荷額等五五・二％と重化学工業の占める割合が大きくなっています。また、県下上位五市までの製造品出荷額等を見ると、浜松市の一兆七千七億円が第一位で、県下の総製造品出荷額等の一三・四％を占め、次いで富士市の一兆四千二百六十八億円（一一・二％）、清水市九千二百七十七億円（七・三％）、磐田市八千六百六十三億円（六・八％）、静岡市八千四百五十二億円（六・七％）の順で、

昭和六十一年十二月三十一日現在で実施した「昭和六十一年工業統計調査」の富士市内の調査結果の概要がまとまりました。

今回の調査は、従業者四人以上の事業所を対象とした調査です。

工業都市としてのバロメーターになる製造品出荷額等は、一兆四千二百六十八億三千五百十万円、昨年に引き続き、浜松市に次いで県下第二位でした。なお、調査結果の詳細については、後日「富士市工業統計調査結果書」として公表する予定です。

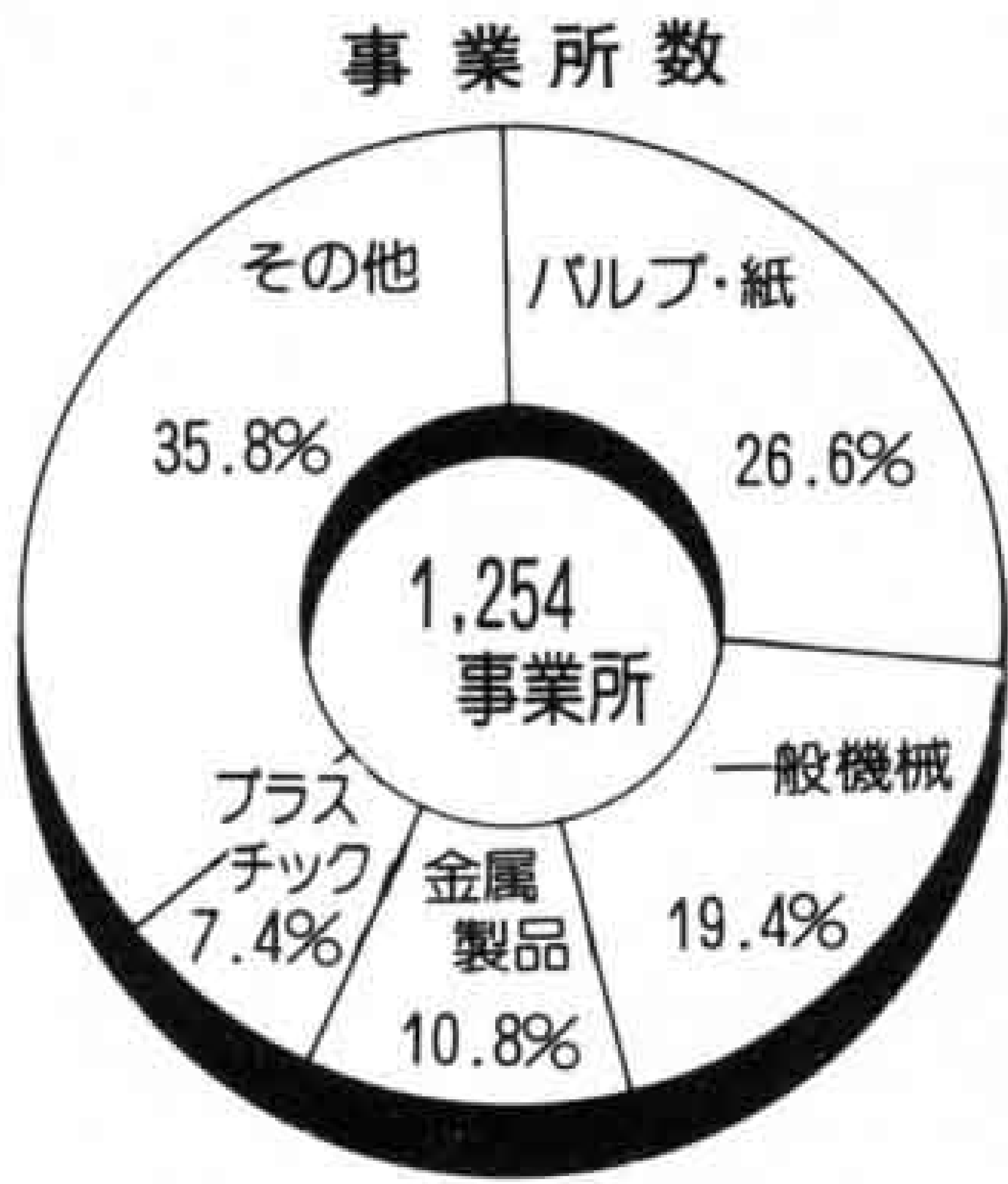
1、富士山のように 高く 教養を深め 視野のひろい市民となります

生き生きとし

速報

昭和61年

工業統計調査



◀オートメーション化された工場

昭和61年 富士市の産業別、事業所数、従業者数、製造品出荷額等 (4人以上の事業所)

昭和61年12月31日現在

産業中分類 (*重化学工業)	事業所数		従業者数(人)		製造品出荷額等(万円)	
	61年	構成比(%)	61年	構成比(%)	61年	構成比(%)
総数	1,254	100.0	46,883	100.0	142,683,510	100.0
軽工業計	681	54.3	21,308	45.4	63,902,835	44.8
重化学工業計	573	45.7	25,575	54.6	78,780,675	55.2
食料品	64	5.1	1,454	3.1	4,763,792	3.3
飲料・飼料・たばこ	15	1.2	254	0.5	1,927,171	1.4
繊維工業	26	2.1	422	0.9	332,419	0.2
衣服	5	0.4	70	0.1	63,368	0.0
木材・木製品	44	3.5	461	1.0	499,371	0.3
家具・装備品	28	2.2	208	0.4	174,304	0.1
パルプ・紙	333	26.6	14,898	31.8	49,749,601	34.9
出版・印刷	45	3.6	616	1.3	754,819	0.5
*化学工業	17	1.4	3,705	7.9	17,887,797	12.5
*石油・石炭	4	0.3	40	0.1	190,597	0.1
プラスチック	93	7.4	2,503	5.3	4,584,852	3.2
ゴム製品	3	0.2	18	0.0	9,253	0.0
窯業・土石	17	1.4	349	0.7	988,592	0.7
*鉄鋼業	21	1.7	536	1.1	3,608,722	2.5
*非鉄金属	10	0.8	88	0.2	321,291	0.2
*金属製品	136	10.8	2,604	5.6	4,273,916	3.0
*一般機械	243	19.4	4,463	9.5	6,995,217	4.9
*電気機械	77	6.1	5,074	10.8	19,342,921	13.6
*輸送用機械	56	4.5	8,810	18.8	26,054,223	18.3
*精密機械	9	0.7	255	0.6	105,991	0.1
その他	8	0.6	55	0.1	55,293	0.0

上位五市で県全体の四五・四%を占めました。

製造品出荷額等 トップは紙・パルプ

製造品出荷額等は、一兆四千二百六十八億三千五百十円で、前年より七十三億五千八百五十六万円増加しました。産業別では、パルプ・紙が四千九百七十四億九千六百一十円でトップ。以下、輸送用機械二千六百五億四千二百二十三万円、電気・機械千九百三十四億二千九百二十一万円、化学工業千七百八十八億七千七百九十七万円の順でした。

前年に比べ、増加した産業は、電気機械二百三十七億五千二百八十七万円、輸送用機械五十七億九千九百四十三万円、プラスチック四

事業所数

事業所数は、千二百五十四事業所で前年より五十事業所増加しました。産業別に見ると、パルプ・紙が三百三十三事業所で最も多く、以下、一般機械二百四十三事業所、金属製品百三十六事業所の順でした。前年に比べ、増加した事業所は、パルプ・紙十九事業所、プラスチック、一般機械が十八事業所などでした。

従業者数

一方、減少した事業所は、飲料・飼料・たばこ二十一事業所、輸送用機械が十事業所でした。

一方、減少した事業所は、飲料・飼料・たばこ二十一事業所、輸送用機械が十事業所でした。

従業者数は、四万六千八百八十三人で前年より五百九十五人増加しました。産業別では、パルプ・紙一万四千八百九十八人、輸送用機械八千八百十人、電気機械五千七十四人、一般機械四千四百六十三人の順でした。前年に比べて増加した産業は、パルプ・紙三百四十三人、プラスチック二百七十一人、金属製品二百五十六人などでした。一方、減少した産業は、輸送用機械百九十人、飲料・飼料・たばこ百一人、食料品八十四人などです。